

すみか

いちのみや(劇団かたかご)

登場人物

波川

はるか

暗転している。パトカーのサイレンが鳴り響く
中、明転。そこはアパートの一室。小さい机が
一つ。後ろに一人がけソファ。そこに少女は
るかが座っていて、うしろの窓から外を見てい
る。近くで、波川があぐらをかき座っている。
波川もまた外が気になる。波川貧乏ゆすり。

はるか 最近毎日だね

波川 うん

はるか 鳴り止まないね

波川 うん

はるか 物騒だね

波川 :わざと言ってる？

はるか なにが？

波川 なにがって、怖くないの？

はるか 怖いよ、私刺されたくないもん。

サイレンの音が遠くなる

波川、ほっと一息。

波川 :もう、外見るのやめろって、だれかみてた
らどうするの

はるか どうもしないよ

波川 お前はどうもしなくても見た方はどうかする

はるか どうもしないって。ほらこうやって話してる

と、普通の親子みたいでしょ

波川 どこが普通だよ、学校も行っていないくせに

はるか 私の父さんもよく言ってた、学校行けって

波川 行きなよ

はるか 偉そうに。子供の面倒一つ見れないのに。

波川 : ゆうじは?

はるか 向こうで寝てるよ。

波川、部屋のある方向を見て、沈黙ののち、

波川 やっぱりよくないと思うんだ、こういうの

はるか どういうの?

波川 いや、せっかく家族がいるんだから、戻った

方がいいと思って。学校にもいかなきゃ

はるか いやだ。あんなの家族じゃないよ。

波川 家族じゃんか、ちやんと血の繋がってる

はるか その家族に逃げられたくせに

波川 両親、きつと辛いんじゃないかな

はるか 自分で連れて来たんじゃない

波川 だから、今度は返そうと思う

はるか 自分勝手

波川 だと思っ

サイレンの音再び。

波川 だれかに通報される前に、帰ってくれ。

はるか 結局、捕まるのが怖いだけじゃん

波川 帰らないなら、俺が通報する。

はるか え、自首するの?

波川 うん

波川、机にあった携帯電話を手に取り、外に出ようとする。

はるか 待って。お願い。

波川 だめだ、家族は一緒じゃなきゃいけないんだ。

はるか 家族だから一緒に暮らすの？それとも一緒に

いるから家族なの？

波川 え？

はるか 私、こっちにいたい

沈黙。サイレンの音だけが聞こえる。

波川、無言ではるかの制止を振り払い、外に出る。はるか一人のこる。はるか、再び、ソファに腰をかけ、外を見る。

はるか 怖いよ

サイレンの音が強まる。まるでこちらに近づいてくるようだ。うつむくはるか。沈黙続いている。波川戻ってくる。波川、うつむいているはるかを見る。はるか、波川に気づき振り向く。二人見つめ合い、静止。

はるか 通報、したの？

波川 するよ、絶対。明日は、するさ、きっと、

サイレンの音、不意に止まる

暗転

おわり